



教育業界 / 講師

## 大阪府立茨木支援学校 河野有紀さん

清泉女学院高等学校出身  
2013年文学研究科修了

子どもたちとの意思疎通の方法は  
言葉だけじゃない。  
思いが「つながった」と感じる瞬間が  
何よりの喜びです。

一度、一般企業に就職した河野有紀さんが大学院に戻り、次に選んだのは支援学校の教育現場でした。

昨年度まで別の学校で主に知的障がいを持つ子どもたちを受け持っていた河野さんが肢体不自由の生徒を担当するのはこの学校が初めて。現在は高校2年生の女子クラスの担当で、6人の生徒を6人の先生が支援するというマンツーマン体制で頑張っています。授業だけでなく食事やトイレなど生活面のサポートもあり、気力や観察力に加えて体力の必要性も痛感しているそうです。特別支援の教諭を志すようになったのは、大学で『国語学』を学んでいたころ。「漠然と将来は一般校の国語の先生になるのかなあ、と思っていたときに、支援学校と障がいを持つ方たちの作業所に短期間、お手伝いに行く機会がありました。明るい生徒さんたちに驚かされ、そして何より子どもや作業場の方たちとの触れ合いが楽しくて」。この経験で河野さんは、自分の本当にやりたいことを見つけます。だからこそ支援学校での仕事を希望する人には、「ぜひボランティアで、この仕事が自分に適合しているかどうか体験してほしい」と考えるのです。

子どもたちが自立できるよう助け過ぎない支援を心掛け、社会に出るため『時間を守る』習慣などを教える。いつも元気で、そして何かを得てほしい。特別支援学校教員免許取得を当面の目標とする河野さんの夢は、生徒たちの未来へとつながっています。

ある1日の  
スケジュール

8:00	過ぎ	出勤
8:30	授業準備、確認作業	
9:00	職員朝礼	
9:30	登校(お迎え)	
12:00	授業開始	
13:20	給食	
15:00	授業	
16:00	下校(送り出し)	
16:00	職員会議	
19:00	業務終了	



一見してすぐに言葉と意味が分かるよう工夫された教材と、気になることを記しておく必需品のノート。

TEACHER